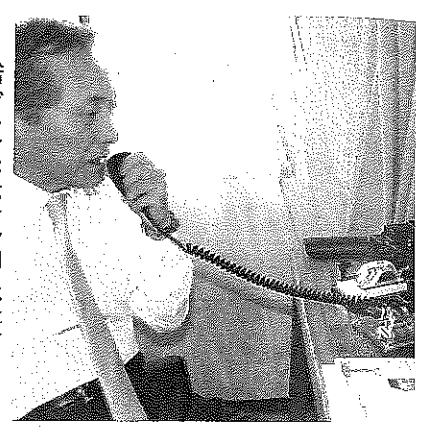


次第、同社ホームで公開する。料金90万円。2人1込みが必要とな

R東は四季島の乗「ビス」に当たる制服8種類を公「統」の「からむし」のベージュ色や、イメージした「フリン」を基調と

JR東日本の豪華寝台列車「トランスイート四季島」の乗務員やクルーらの制服（同社提供）



八戸グランドホテル内に設置した無線機で発信する笹本進代表
7日、八戸市番町

災害発生時 通信手段に

た。大規模災害時の運用を想定しており、同社の笹本進代表は「国内に65万局があり、国外との通信も可能だ。非常時の通信手段として、いざというときに役に立たい」と意義を強調する。

八戸グランドホテル アマチュア無線局を

東北総合通信局から無線局免許状の交付を受け、無線機やアンテナを設置した。非常用電源やバッテリーも備え、停電時に対応できるという。アマチュア無線は金銭上の利益などを目的とした運用は禁じられているが、地震や台風といった非常事態で有線通信や携帯電話などの利用が困難な場合、人命の救助や交通通信確保のため

工場排熱 どう活用

三八地域県民局が
八戸でフォーラム

青森県三八地域県民局は7日、八戸プラザホテルで未利用熱エネルギーに関するフォーラムを開いた。企業や産業支援機関などの関係者約50人が参加し、専門家の講演を通して地域で未利用熱エネルギーを活用する方策を探った。

本年度2回目の開催。工場が集積し、熱を排出する企業が多い三八地域で、未利用熱エネルギーの活用を推進することが狙い。森豊技術士事務所(東京)の代表で工学博士の森豊氏



は、地熱など100〜200度程度の中低温熱源で沸かした蒸気でタービンを回して発電する「バイナリー発電」について解説した。

参加者が未利用熱エネルギーの活用方法を探ったフォーラム7日、八戸プラザホテル

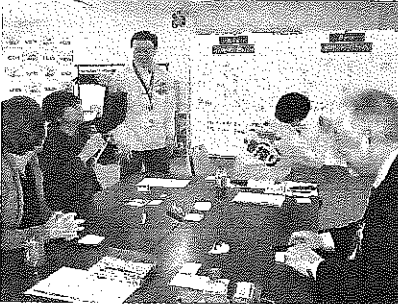
点が低い媒体を加熱し、発生した蒸気でタービンを回して発電する「バイナリー発電」について解説した。工場排熱を利用した発電の実用例を示し、「産業用大型エンジンの排熱回収にバイナリー発電は有効で、国内での普及促進が望まれる」と強調。課題として、工場内に分散する排熱をまとめて確保する方法や低コスト化などを挙げた。

国立研究開発法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)」省エネルギー部「産学連携推進プログラム」の活用方法を探ったフォーラム7日、八戸プラザホテル

青森らしい 飲み方は？

青森支社が意見交換

大手飲料メーカー・キリン「一番搾り」の青森県内限定商品「一番搾り 青森に



「一番搾り 青森に乾杯」の楽しみ方について意見を交換する参加者ら7日、青森市

乾杯」が7月に発売されるのに合わせ、キリンビール青森支社松崎公俊支社長は7日、青森市でワークショップを開催した。県内で観光業に携わる関係者らを引き、ビールの青森らしい楽しみ方について、アイデアを出し合った。ワークショップでは、青森ならではの食や場所、シーンなどについて意見交換。「旬の海の幸を食べながら」「祭りの参加者と観客が一緒になって」など活発な意見が飛び交った。



小野寺晃彦市長(右)の話に耳を傾ける青森銀行の行員7日、青森市

東北 夕刊 長約 課長 携を

経済短信

▶新社会人のセミナ
一開催 ビジネス
イン(弘前市)は、
春に大学や高校な
卒業して青森県内
職する新学卒内定
を対象に「新社会
ライフプラン」を開
く。

地場産品の購入や八戸ブランドの応援を推奨する「Buyはちのへ運動」への関心を高めようと、八戸商工会議所BUYはちのへ推進会議は、マスコミキャラクター「うみねこはっぴー」の声を担当する人を募集する。締め切りは20日。採用されると、後日収録する音声が今年4月からの1年間、市内の路線バスの車内広告で放送される。賞品は特製うみねこはっぴー人形と「はちのへ共通商品券」2万円分。年齢や性別は不問。必要事項